



SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
Jan.2024

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

1月13日に台湾総統選挙が行われ、与党・民進党の頼清徳氏が野党の二人の候補者を破り当選。

中国廈門の新規メーカー視察を予定していた会社の副社長は、今後の台湾の未来を占う為にもどうしてもこの日程は外せないとの事で日程を変更した経緯がある。今回の選挙は、中国との向き合い方が争点の1つであり、中国の圧力に対抗する姿勢を示す与党・民進党が政権を維持するか、中国との対話や交流拡大などを訴える野党が政権交代を実現するかが焦点であった為、彼が台湾人であると知った時、この選挙の重みが痛いほど理解できた。

香港では、20年の国家安全維持法が施行され一国二制度に風穴を開けられた格好となり、香港の自由は全く無くなったと感じる香港人が大半である。

今回の頼氏の当選は、香港人にとっても大きな意味があったのではと感じる。

三新電気香港有限公司
代表取締役総経理 兼 C.O.O.
新井 晶

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

年が明けましたが、年明け早々の災害、事故等なかなかおめでとうとはいづらいスタートとなりました。今回の震災では、津波による被害、火災による被害、また被災地に物資を輸送する航空機事故、工場の操業停止など...、二次・三次災害も大きくなっております。自然災害を誘因として引き起こされる災害にはどのようなものがあるか、対策等改めて考えてみたいと思います。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

香港はガソリン代が世界一高いというデータがあります。USD3.09/1L(2023年10月時点)。そういった背景もあってか、現在香港で新規登録される自家用車の60%以上が電気自動車となっています。また、タクシーやバスも、2040年までに電動化するという政府の具体的な計画があります。持続可能なエネルギーへの移行は経済面でもプラスの効果をもたらすと思います。他の都市や国々にとっても良いモデルとなり、エネルギー転換の推進に繋がることを期待しています。(A.W.)

CSI

日本では結構当たり前に食べることができるNATTO。こちらでは、なかなか食べる事が出来ませんでした。最近購入可能になり、よく注文します。聞くと菌を日本から持ち込み、フィリピンの大豆を使用し生産されているとの事。安全に食べられる様管理されているとの事。便利になりました。(K.S.)

SANSHINWest

明けましておめでとうございます。年始から地震、航空機事故が続き波乱の幕開けとなりましたが、再度災害対策の見直しをする機会になったと思います。被災地の早期復興を祈りつつ、災害に備えて日頃から対策をしておきましょう。(F.H.)

SHINKOWA

2024年が始まり、1日は能登地方の大震災、2日羽田空港での飛行機事故と大きな事が起きてしまいました。震災は甚大な被害をもたらし、通常生活できるまで、復旧は数カ月から数年はかかる可能性があります。個人ができることは難しいですが、募金等で微力ながら復興の協力が出来ればと思っております。(M.N.)

SC2

ペットボトルの水に含まれるマイクロプラスチックは、想定100倍以上の量というコロンビア大学の調査結果。内容はペットボトルの成分ではなくポリアミドとポリスチレンの粒子で、飲料を充填する際の汚染が原因。災害の備蓄に欠かせないペットボトルですが、ナノサイズのウイルス等を除去できる浄水器も必要ということですね。(M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

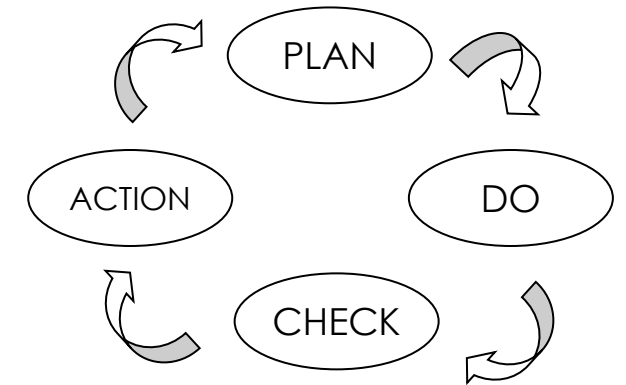
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

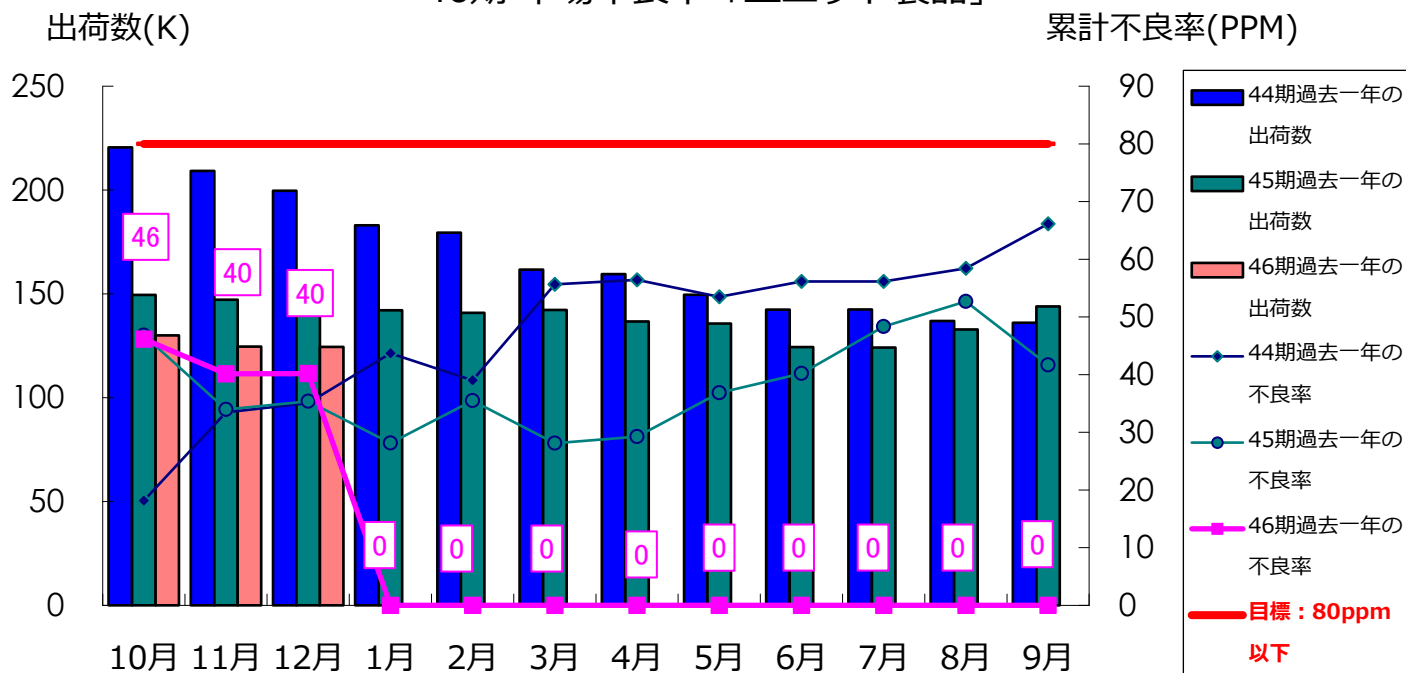
* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

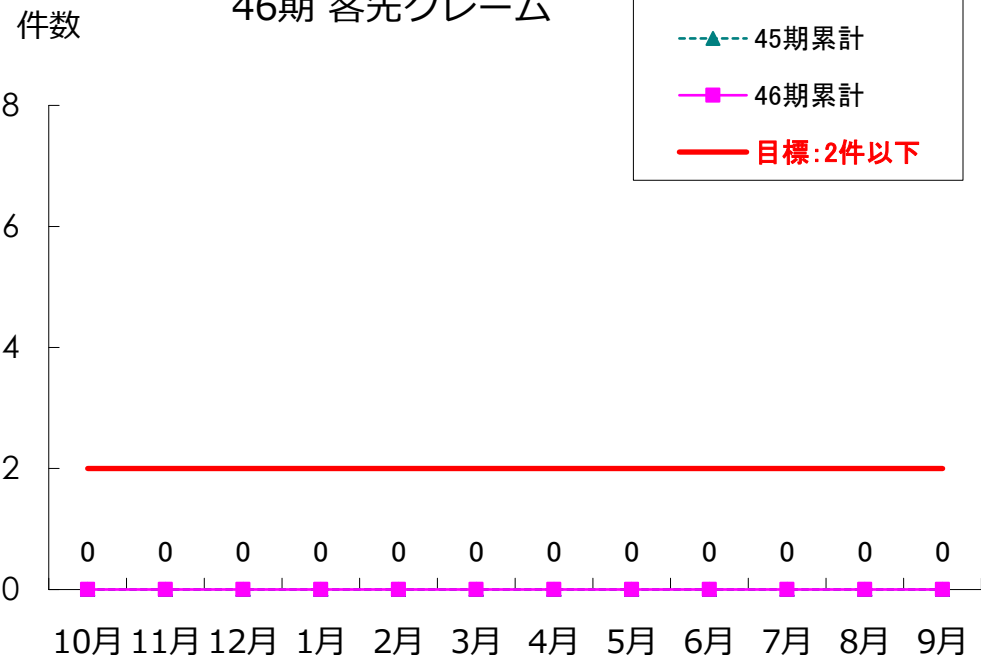
納入品不良率 (目標 : 80ppm)
 46期の累計不良率(解析依頼含む) : 40ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件

46期 市場不良率「ユニット製品」



46期 客先クレーム



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

■地震による二次災害とは？対策を知って災害に備えよう

2024年1月1日午後4時10分ごろ、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する地震が起きました。建物の倒壊や津波の被害、それに地盤の隆起も確認されています。この地震で震度7の非常に激しい揺れを石川県志賀町で観測したほか、震度6強を七尾市と輪島市、珠洲市、穴水町で、震度6弱を中能登町と能登町、新潟県長岡市で観測しました。気象庁によりますと、石川県で震度7を観測するのは観測史上初めてだということです。また、各地で津波や火災、建物の倒壊や落下物による被害などの二次差異が発生しています。今回は地震がどのような二次災害を引き起こすのかを紹介します。

☑地震による二次災害の種類

地震によって引き起こされる二次災害は、場合によっては最初に発生した災害よりも影響が大きくなります。地震による二次災害の種類を、「大都市において予測される二次災害」「地域に関係なく予測される二次災害」に分けてみていきましょう。

<大都市において予測される二次災害の種類>

- ・ネットや電話の接続不良

ネットや電話の接続不良による通信障害は、以下のような問題を引き起こします。

家族の安否確認ができない

地震や津波の情報・生活物資の情報が入手しづらい

「総務省」が公表した「平成23年版 情報通信白書」では、2011年に発生した東日本大震災により、固定通信（固定電話やパソコンの通信）では約190万回線の通信回線が被災し、移動通信（携帯やスマートフォンなどの通信）では合計約29,000局の基地局が停止しています。

今月のTOPICS

- ・道路が渋滞し動かなくなる

地震により道路が渋滞することで、例えば以下のような問題が引き起こされます。

救急搬送が必要な人の救助に遅れる
消火が必要な火災現場への出動が遅れる

これらの事態を防止するためにも、地震発生時の車での移動は控えることが原則です。

<地域に関係なく予測される二次災害の種類>

- ・火災や津波、地割れなど

地震の二次災害で引き起こされる火災や津波、地割れは、人命を奪う被害にもつながります。地震により避難しようとしている人が、二次災害により避難経路が奪われて避難が遅れるなどといった問題も起こります。

- ・建物の崩壊やそれによる落下物

二次災害による建物の崩壊や落下物により、人命に影響を与える事故に結びつく、避難経路を阻害するなどの問題にもつながります。老朽化した建物や看板は特に、崩壊や落下のリスクが高くなります。

- ・電気やガス、水道などのインフラの停止

電気やガス、水道などのインフラが停止することで、地震から避難した後の避難先での生活に影響を及ぼします。たとえば、寒い・暑いなど体温調節が難しくなる問題や、水道が使えず衛生面での問題につながります。

東日本大震災では、電気は約1週間、水道は約3週間、ガスは約5週間の復旧期間を要しています。

今月のTOPICS

・電車が止まる

電車が止まることによって、通勤や通学などの交通網に影響が出ます。電車が止まった際の移動手段として、車や徒歩、自転車などの移動手段を持っておくことが大切です。ただし、避難の際には車移動は推奨されていません。

・避難場所でのエコノミー症候群やストレスやショックによる心身の不調

避難場所では色々な人々が同じ空間で生活することになります。心身共にストレスを感じて体調不良を感じたり、また、車中泊を続けている人は「エコノミー症候群」を引き起こすこともあります。東日本大震災では、被災者の下肢静脈エコー検査によって深部静脈血栓症が受信者の35%に発見されたデータも出ており、被災とエコノミー症候群は密接につながっているとと言えます。

・液状化現象

液状化とは、地震が発生して地盤が強い衝撃を受けると、今まで互いに接して支えあっていた土の粒子がバラバラになり、地盤全体が液体のような状態になる現象のことです。液状化が発生すると、以下のような問題が起こる可能性があります。

地盤から水が噴き出す

地盤の上に立っていた建物が沈む

地中に埋まっていたマンホールや埋設管が浮かんでくる

直接的に人命に関わることは少ないとされていますが、液状化現象により居住している建物が崩壊する危険もあるため、十分に注意する必要があります。

今月のTOPICS

☑ 過去の大地震で実際に起きた二次災害

【1995年】阪神淡路大震災 地震発生に伴い発生した火災

阪神淡路大震災では、地震による火災で亡くなった方は559人、火災発生件数は285件、焼損棟数483棟といわれています。この火災発生件数285件のうち、建物火災件数が92%と大半を占めており、当時の神戸市内だけでも157件の建物火災が発生しています。そのうちの原因が特定できた55件のうち33件が通電火災でした。地震発生に伴い発生する火事原因のうち、全体の51%は電化製品の誤作動や破損によるものといわれています。

【2016年】熊本地震による、宅地の液状化現象

2016年に発生した熊本地震では、2回にわたる震度7の強い揺れにより、低地や地下水位の高い地域で、液状化被害が発生しました。液状化により、外構の沈下・傾斜や、戸建住宅や店舗の沈下、建物の基礎杭の抜け上がりやそれに伴う埋設管の破損など、建物に関する被害や、電柱の被害が多く報告されました。

【2017年】大阪地震による壁の倒壊

2017年の大阪地震による建築物の被害状況は、住家被害は2府5県で全壊が計12棟、半壊が計273棟、一部損壊が計41,459棟にのぼりました。全壊の12棟は、主に宅地被害によると見られるものが9棟、上部構造の被害によると見られるものが3棟でした。

今月のTOPICS

☑ 【事前にできること】地震による二次災害への対策

・避難ルートや避難場所を確保する

地震発生時にパニックにならず、落ち着いて避難できるように、避難ルートや避難場所は事前にチェックをして家族にも共有しておきましょう。もしも家族でばらばらに避難をした場合でも、集合できる場所を事前に共有しておけば安心です。

・ハザードマップを確認する

どこまでが危険で、どこが安全圏内であるかをハザードマップで事前に確認しておく、避難時もスムーズです。ハザードマップは市区町村で配布していることが多いので入手して家族で確認しておく、と安心です。ハザードマップの内容も定期的に更新されるので、常に最新のものを用意しておきましょう。

・家具の固定・ガラスの保護をする

大型の家具家電は、地震が発生すると倒れる危険があるので、事前に固定をしておきましょう。固定には丸字式金具やベルト式器具、耐震マットやシートなどがおすすめです。窓や扉のガラス部分には、保護シートを貼っておくと割れた時に飛び散りにくくなり、ガラスの破片などでけがをすることを防げます。

・防災グッズの備蓄をする

ライフラインがストップした時のことを考えて、防災グッズを用意しておきましょう。

防災グッズは家族分用意をしておきましょう。災害発生時にすぐに持って出られるところに用意しておき、全員が防災グッズの位置を把握しておくことが重要です。防災グッズの中身は定期的に見直しましょう。

今月のTOPICS

☑ 【発生時にすべきこと】地震による二次災害への対策

- ・ 家の中にいる時は慌てずに対応をすることが第一
家具の移動や落下物から身を守るため、一番に頭を保護しましょう。まずは扉を開けて避難路を確保し（地震が大きい場合は動き回らないようにしましょう）、大きな家具から離れ丈夫な机の下などに隠れ地震が収まるのを待ちます。あわてて外に飛び出すことは非常に危険です。
- ・ 火元を消す
料理や暖房などで火を使っている場合、その場で火を消せるときは火の始末をしましょう。火元から離れているときに無理に火を消しに行くと、倒壊物の被害に巻き込まれることがあるので危険です。屋外へ避難するときには、電気による火災発生を防ぐためにもブレーカーを落とすことを忘れないようにしましょう。
- ・ 商業施設にいる時は慌てず従業員の指示に従う
商業施設にいる時に地震が発生した場合、多くの人がいる分周囲の流れにのみ込まれそうになることもありますが、まずは従業員の指示に従いましょう。施設では天井の電気が落下する危険性があるので、電気の下からなるべく離れ、慌てて出口に殺到しないよう注意が必要です。
- ・ 屋外では危険な所から離れる
屋外にいる時に地震が発生した場合、ブロック塀や看板は倒壊する可能性があるので離れましょう。山や崖の近くにいる場合も、崩れる危険性があるので離れるようにしましょう。海辺の近くにいる時には、二次災害で津波が発生する心配があるので、高いところに避難します。

今月のTOPICS

☑ 【地震の発生後】二次災害への対策

地震発生後はしばらくの間は再度地震が起こることも考えられるため、いつでも避難できるように準備しておきましょう。古い建物や山は地震による地盤のゆがみで崩れる可能性があるため、しばらくは必要がない限りは近づかないように気を付けましょう。時差で津波が発生することもあるので、海や川に近づいて様子を見に行ってははいけません。地震発生後に自宅へ戻り修復作業をする際にも、二次災害に巻き込まれないように気を付けるポイントがあります。電気の復旧時には、停電した状態から急に電源を入れることで通電火災が発生する恐れがあるので、まずはブレーカーが切れていることを確認し、アンペアブレーカー、漏電遮断器、安全ブレーカーの順に入れましょう。ガスも、万が一ガス漏れしている場合爆発や火災などの危険があるので、まずは全てのガス機器の使用を止め、復帰ボタンを押し、ランプの点灯が確認できてから使用を再開しましょう。片付けや修復作業をする時には、マスクなどをしてほこりなどを避け、釘や木材などでけがをしないような服装で行いましょう。なお、災害後には修復作業の請負いを装った詐欺が多発する傾向があるので、それらにも十分注意が必要です。

地震による二次災害は、時に一時災害よりも甚大な被害をもたらすことがあります。二次災害で起こりうる災害を事前に知り、対策を考えておくことが大切です。発生時の対策や避難経路も、家族で話し合っておくと安心です。

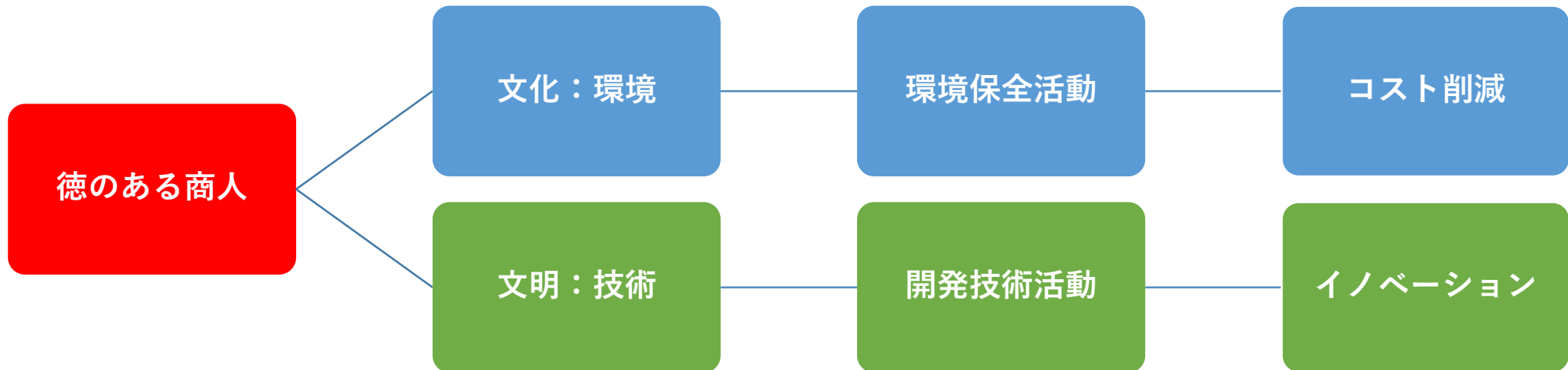
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

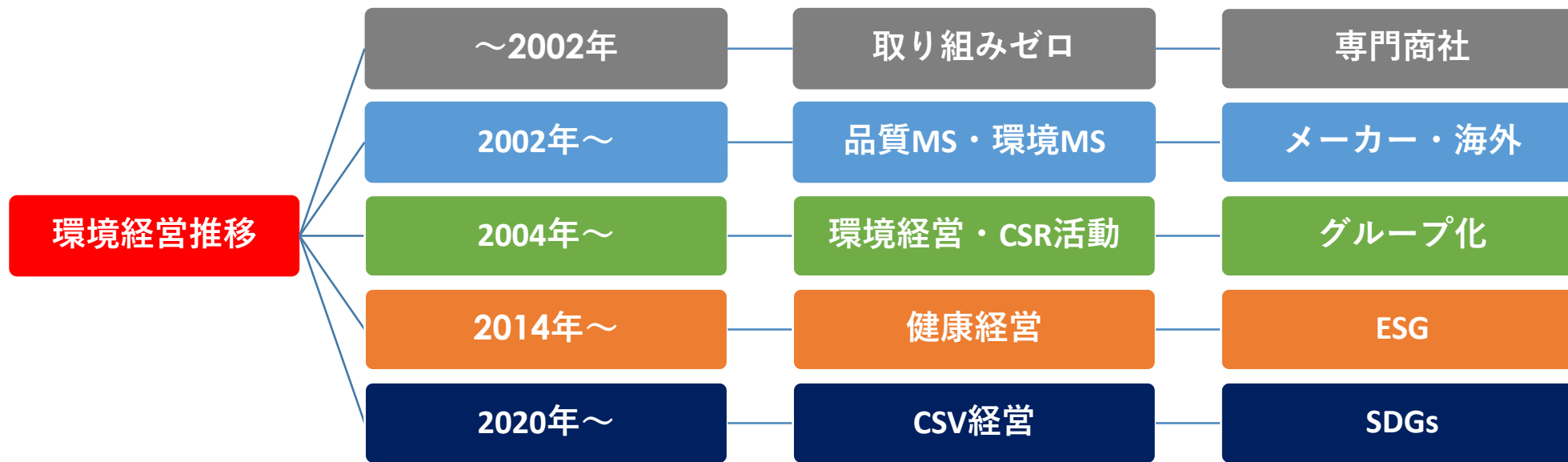
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の**文化・文明**発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで環境MSを整備。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い経営理念を創設。CSRを能動的に展開。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言，ESGとSDGsを重視。

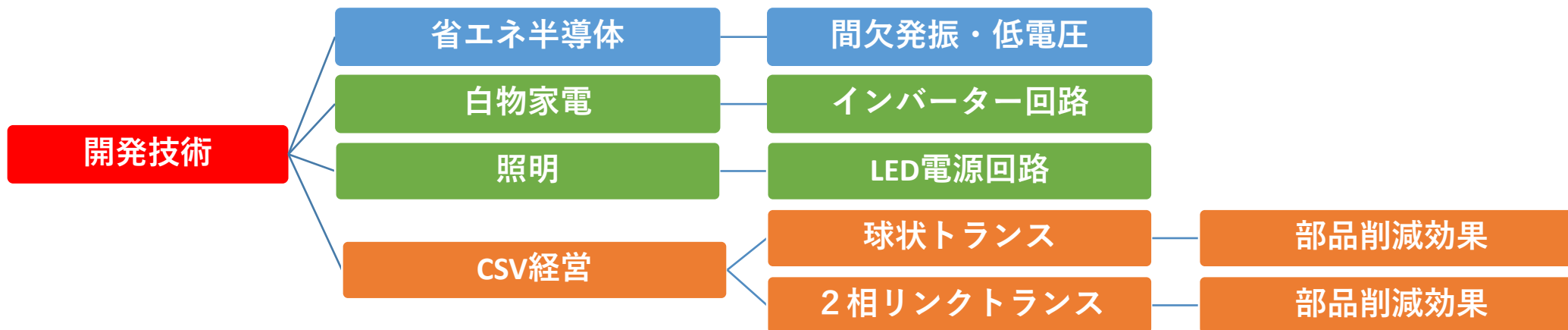
3. コスト削減実績

- 紙/ゴミ/電気, 三種の神器, 徹底削減の継続
 - テレワークによる電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒ グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！



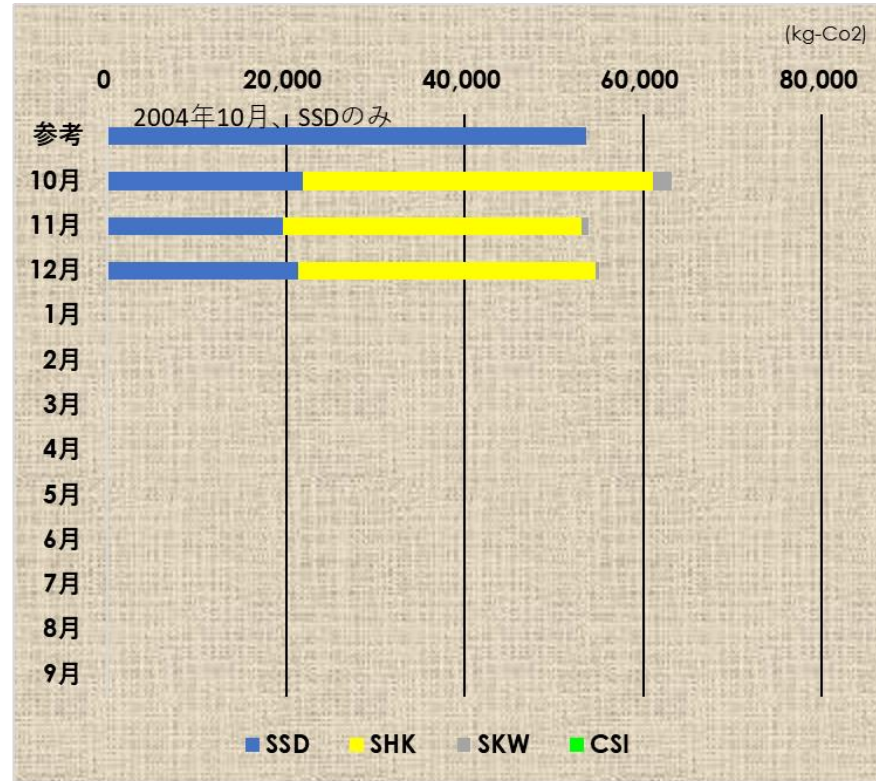
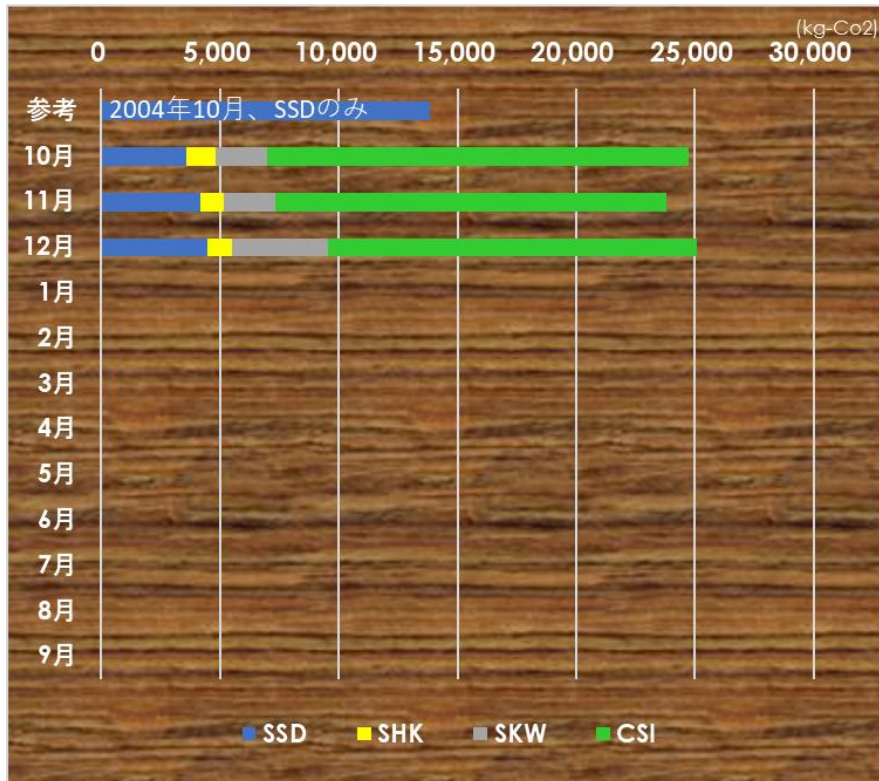
活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

SSGサプライチェーン排出量

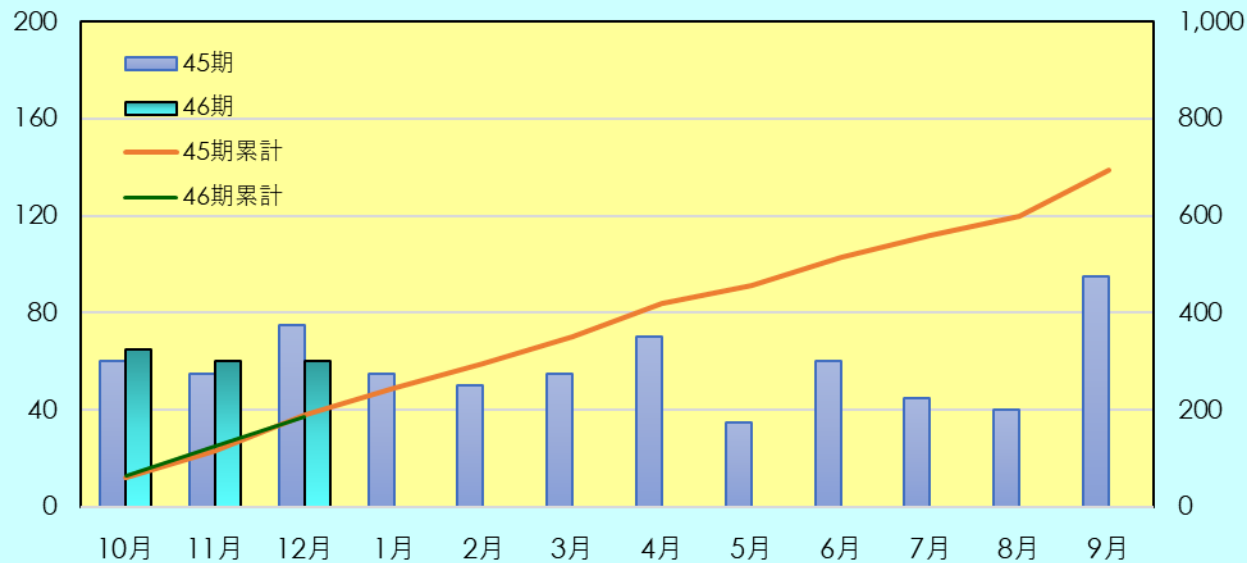
サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）

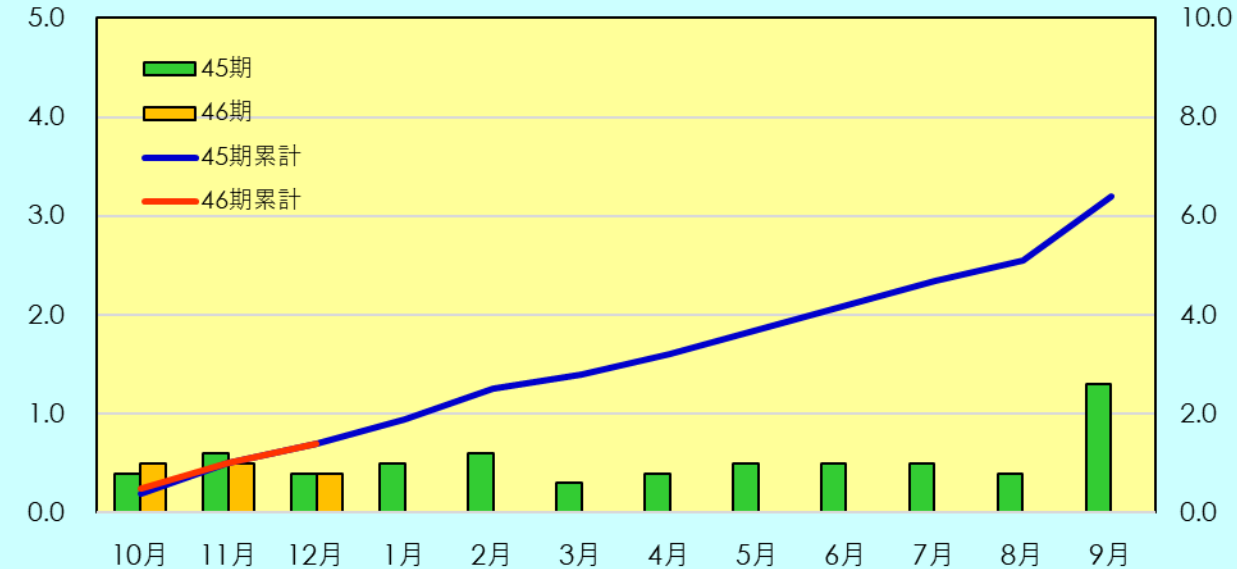


一般廃棄物 (SSD/本社)

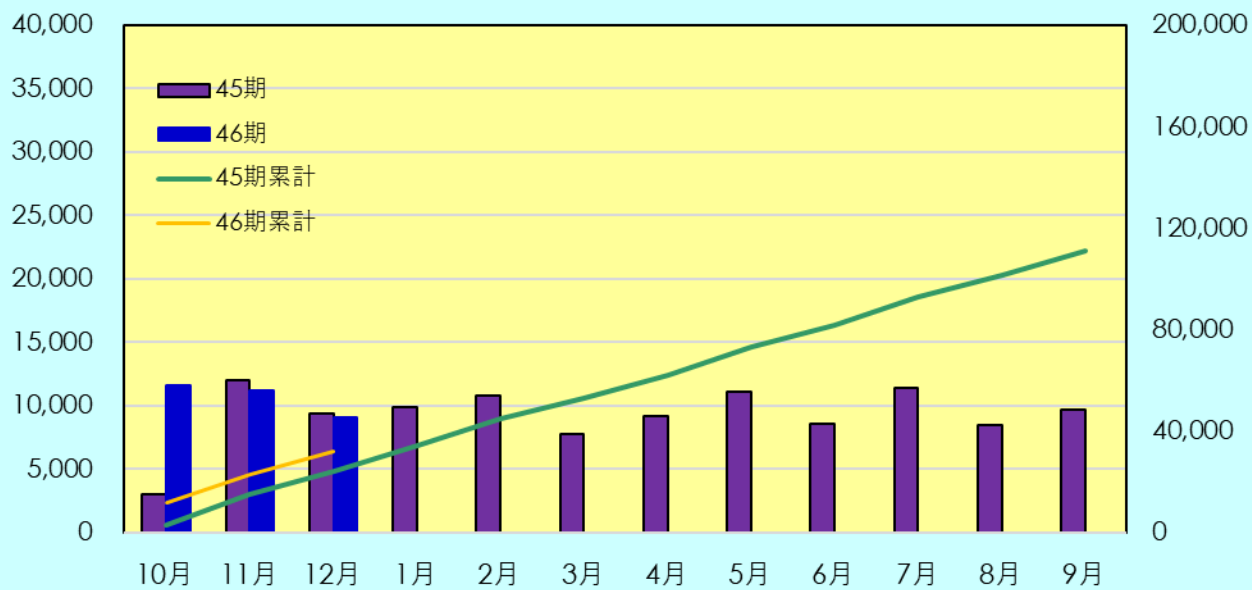
累計/折れ線(kg)



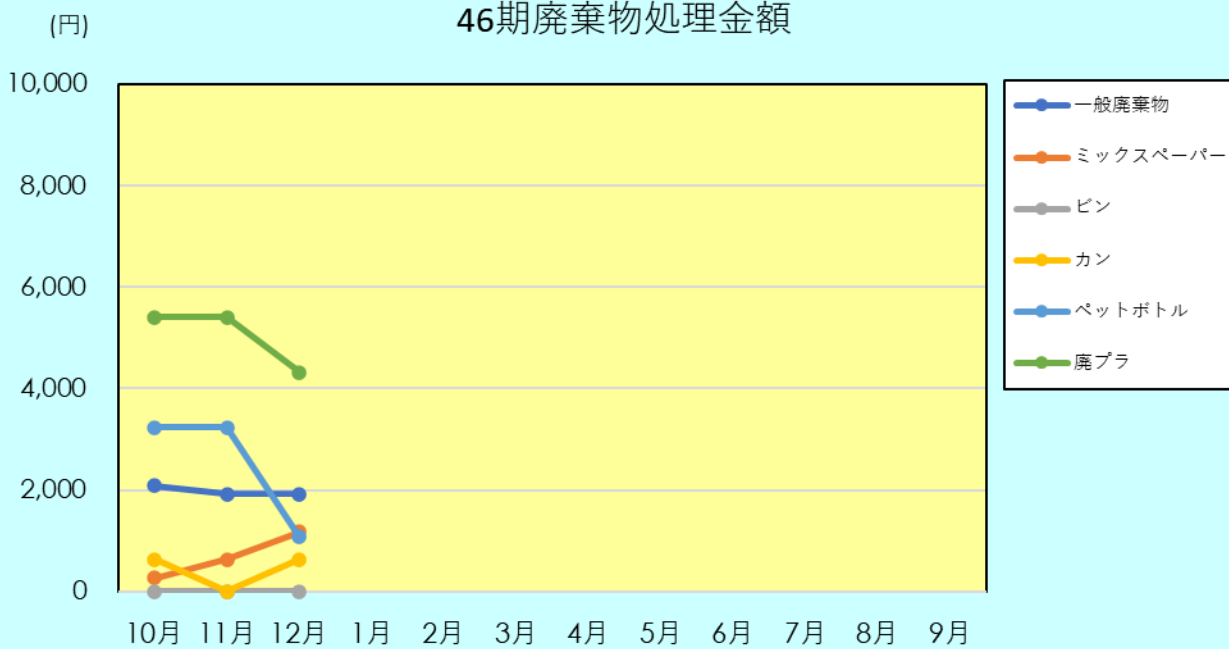
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



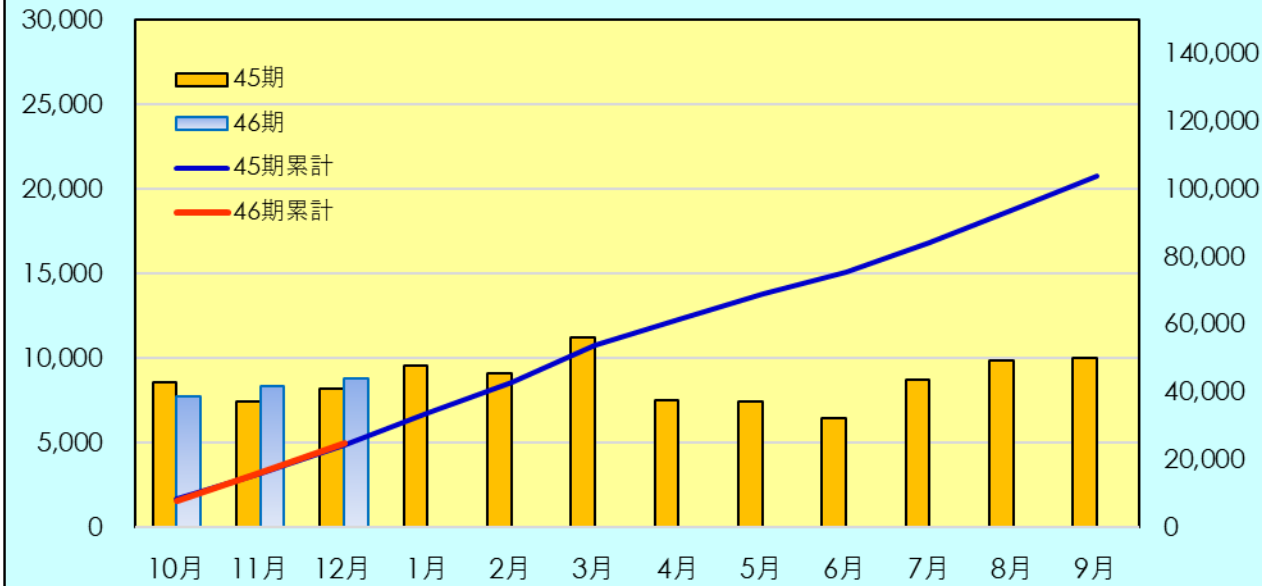
廃棄物処理金額 (累計)



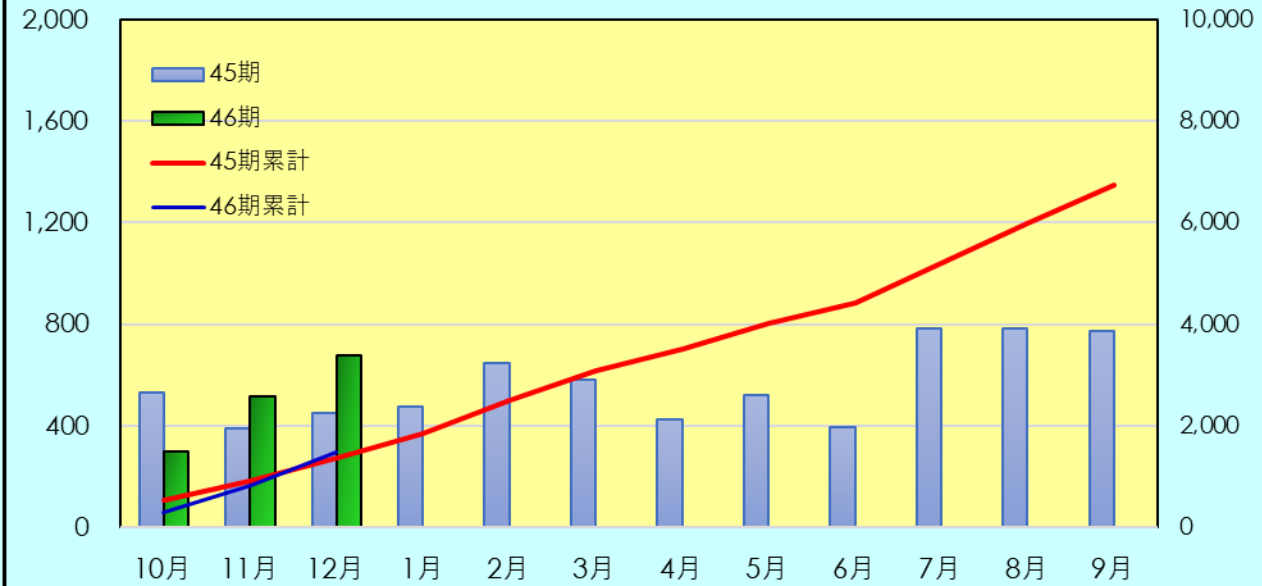
46期廃棄物処理金額



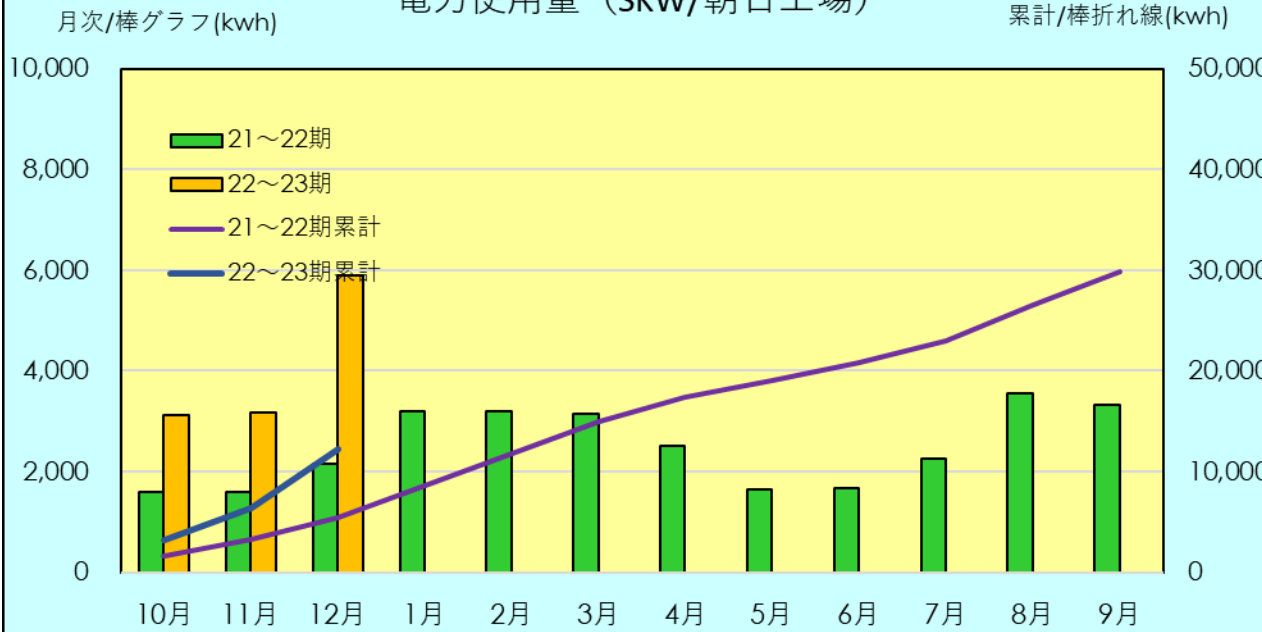
電力使用量 (SSD/本社)



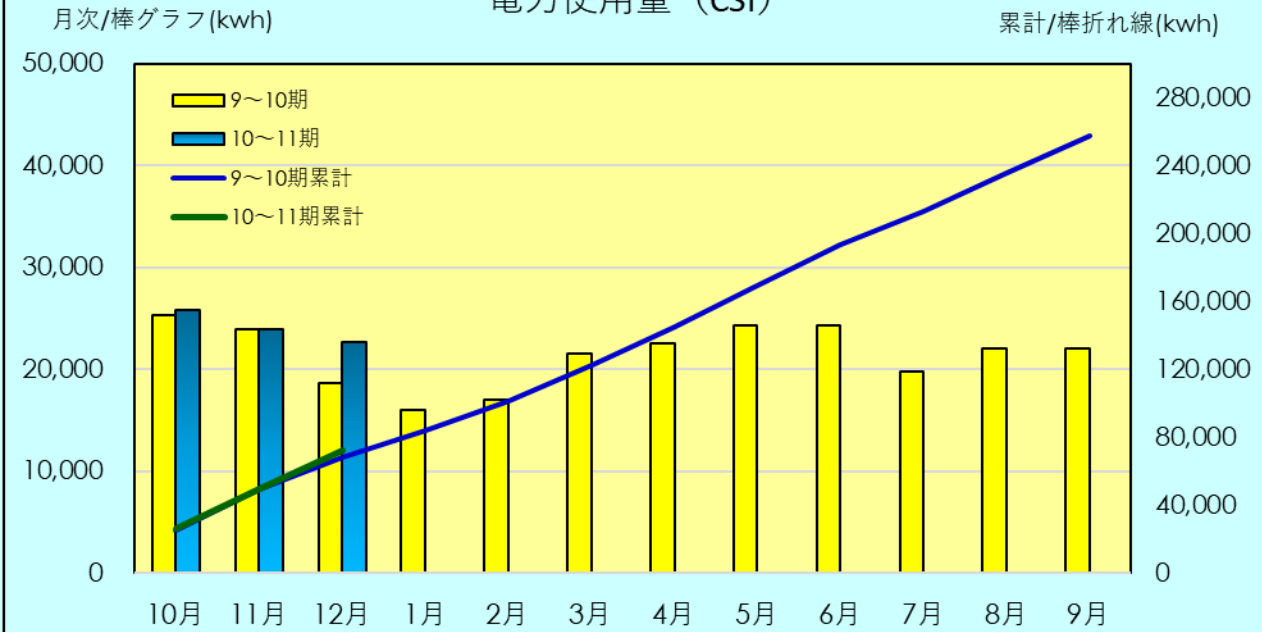
電力使用量 (SSD/関西営業所)



電力使用量 (SKW/朝日工場)



電力使用量 (CSI)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

～動物保護団体 アルマに協賛しています～

(株)ミタスライフはNPO法人アルマに協賛しています。
アルマは、主に関東圏の動物愛護センターに保護された犬猫を
引き取り、新しい飼い主へ譲渡する活動を行っています。
1日も早く犬猫の殺処分がなくなることを願います。

NPO法人アルマのHPはこちらから。
<http://alma.or.jp/index.html>

ミタスライフ メインサイト
<https://mitaslife.com/>



アルマさんの2024カレンダーに
協賛広告を掲載しています。

活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（12月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）

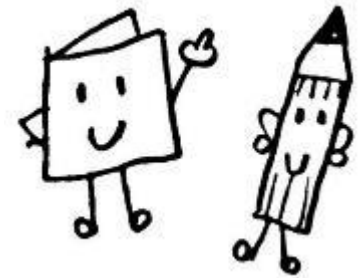


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2023年5月更新）⇒6年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検、秘書検定、QC検定の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

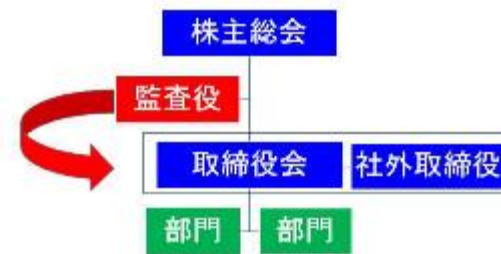
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



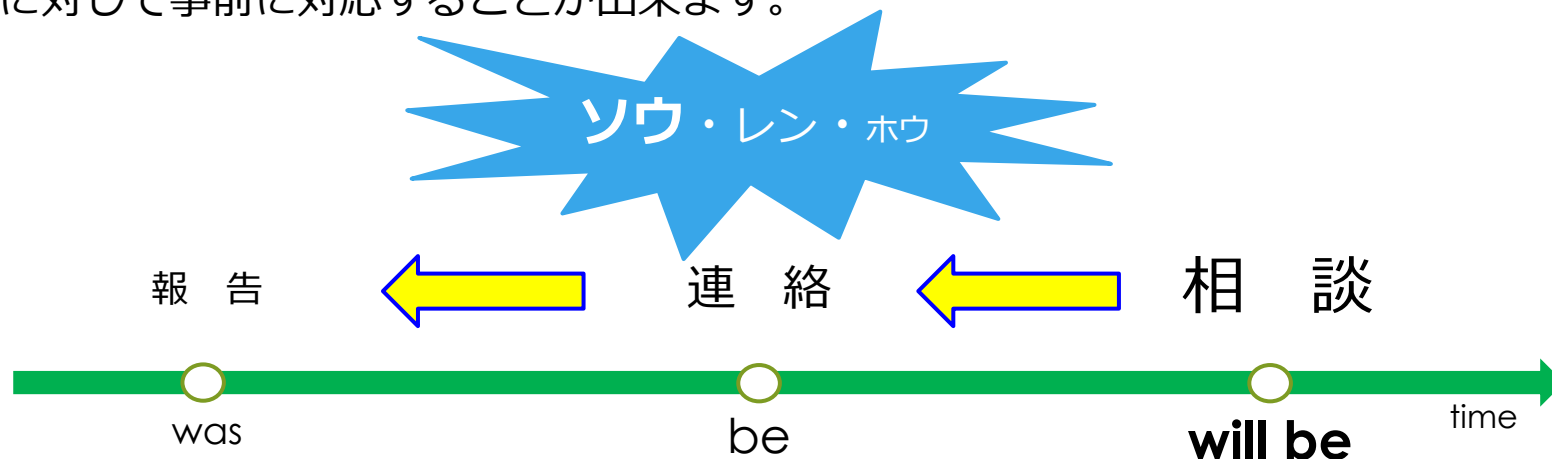
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

2024年最初のESGレポート発行となります。今年もどうぞ宜しくお願い致します。自然災害や各地での紛争など、今年も多くの課題を抱えてのスタートとなりますが、グループがさらにレベルアップできる機会でもあると思います。今年もソウレンホウを徹底し、困難に打ち勝っていきましょう。